



## 特定非営利活動法人みんなのおうち

事業名

# 「「居場所みんなのおうち」での外国にルーツのある人への支援事業」

コミュニケーション支援事業

生活支援事業

## 取組内容

外国ルーツの青少年への日本語と教科学習支援及び相談対応、保護者には各種相談対応、大人向けの日本語教室を実施した。

- **実施場所**：居場所みんなのおうち
- **体制**：事務局3名、学習支援者5名+ボランティア、日本語指導者4名、相談担当3名  
法律等は外部団体と連携
- **日程**：学習支援 週3回  
大人向け日本語教室 週2回

### 【事業実施に至った背景など】

新宿区は区民の約12%が外国籍区民であり、来日だけではなく日本生まれの外国ルーツの児童生徒も多い。こうした児童生徒には、日本語と教科学習支援はもちろん、高校進学に向けては親も含めた支援が必要である。また、保護者からの要望で大人向けの日本語教室を開始した。



「居場所みんなのおうち」での学習風景

- ◆ **事業期間** 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ◆ **参加人数**  
【外国ルーツの青少年居場所利用者数】延べ1,795名  
【大人の日本語教室参加者数】延べ357名  
【相談者数】延べ103名

## 効果

- 中学3年生7名**全員が高校進学**を果たせた。全員の保護者がお礼に来てくれた。高校進学を諦めていたが入学が決まって安心した。大学進学を口にするようになった。
- **大人への日本語教室**では日本語検定を受ける準備を希望する方が出てきた。**日本語を勉強できて嬉しい、との感想。**

## 事業を振り返って 代表理事 小林 普子さん



大人の日本語教室風景

- 居場所がある事で利用者から多様な要望があった時、いつでも対応できます。例えば、保護者から日本語学習をしたいとの要望にも迅速に対応できました。居場所を利用した高校生や大学生の利用も増えました。
- 開設時間が17時～21時で、21時以降も利用したいとの希望がありますが支援者の拘束時間が遅くなり対応が難しいです。
- 大人の日本語教室の希望者が増える傾向にありますが、場所の広さの関係で拡大が難しいです。
- 青少年向けのパソコン教室を令和5年から始めるので、保護者向けも開始したいです。